キャビネットラック設置基準（その1）安全要求条件

（1）架及び装置の耐震条件

震度6強までの地震に対して、以下の条件を満足するようにして下さい。

架頂部の水平変形が50mm以下であること。

再度、同レベルの地震に遭遇しても、損傷の程度が大きくなること。

また、震度7までの地震（阪神・淡路大震災クラスを想定）に対しては、保守要員の人命や弊社の通信装置等に重大な影響を与えないように、以下の条件を満足するようにして下さい。

キャビネットラックが倒壊・崩壊しないこと。

搭載物・カバーの脱落、ドアの開放を生じないこと。

（注1）上記耐震条件に適合している旨、相互接続点調査に記載があるにもかかわらず、耐震条件を満足しない事象が発生した場合、耐震条件に関する証明資料を提示していただくことがあります。

（注2）後述するアダプタ等の調整材（以下アダプタといいます。）を使用する場合には、アダプタを含めて耐震条件を満足することが必要です。

【参考】地震レベルと建物床上で想定される最大加速度について

装置等の耐震性能を評価する際の最大加速度は、地震レベルと建物の設置階に応じて、表1に示す値とする。

表1 地震時に想定すべき建物床加速度（単位：m/s²）

設置場所	震度5強	震度6強	震度7
屋上	1.0	1.2	1.4
建物内上層階	0.8	1.0	1.2
建物内下層階	0.5	0.6	0.7
1階・地階のみ	2.5	4	5

（注）上下方向は、表の値の1/2とする。

震度7：阪神・淡路大震災クラスを想定

上層階：建物地上階数をnとし、(n+1)/2+1（端数切り捨て）以上の階

下層階：上層階以外の階